

第 52 回優秀畜産技術者表彰受賞者業績概要（敬称略）

伊藤 智仁	<p>（一社）家畜改良事業団家畜改良技術研究所 遺伝検査部 検査第二課 課長 豚 DNA を利用した親子判定や遺伝子型検査技術を開発し、現場での生産性向上や産地証明に活用できる技術として普及している。豚の経済形質を低コストに一括で解析できるシステムは大手養豚企業等で種豚の選抜に利用されるなど、生産性や収益性の向上に寄与し、研究と現場を繋ぐ役割を果たしている。</p>
及川 学	<p>北海道立総合研究機構 農業研究本部 畜産試験場 家畜衛生グループ 研究主幹 人獣共通感染症として、牛の O-157 や豚サルモネラについて、再感染等の実態解明の他、再感染防止対策をまとめたり、養豚場における洗浄消毒方法のマニュアル化やワクチン接種方法の技術普及に貢献し、家畜衛生に関して北海道の指導参考事項とされた対策技術の普及に貢献した。</p>
清沢 敦志	<p>長野県畜産試験場 飼料環境部 主任研究員 スーダン型ソルガムでは、高消化性遺伝子を持ち酪農分野でも利用できる「涼風」、繁殖農家向けの超多収品種「峰風」を、兼用型ソルガムでは高消化性と紫斑点病抵抗性を併せ持つ「華青葉」の育成に携わるとともに、育種だけでなく栽培利用面の技術開発も併せて行った。</p>
佐藤 精	<p>愛知県農業総合試験場畜産研究部 養牛研究室 主任研究員 高泌乳牛への食品製造副産物の利用技術や飼料中の分解性蛋白質の評価に関する成果をあげ、日本飼養標準へ反映させた他、窒素排泄量を低減する飼料を開発するなど、酪農の問題解決に向けた技術開発に大きく貢献した。また、3 回搾乳の実証を国内で先駆けて行い、搾乳ロボットの普及にも寄与した。</p>
佐藤 妙子	<p>福島県農業総合センター 畜産研究所 主任研究員 長年にわたって養鶏研究に従事し、絶滅寸前であった地鶏「会津地鶏」を素材とした肉用種鶏造成に尽力し、近交退化の発現を回避して産肉能力にも優れた地鶏生産に向けて種鶏を更新した。このほか、遺伝子解析による育種改良技術等を通じて県の地鶏ブランド確立に貢献している。</p>
清水 正明	<p>徳島県立農林水産総合技術支援センター畜産研究課 専門研究員 県の主要産業であるブロイラー生産において、ブロイラー育成初期に青色 LED 照明を用いることにより出荷体重が向上することを明らかにし、民間企業との共同特許を取得した。短い研究期間の中での先駆的な技術開発の業績としてだけでなく産業振興の面でも評価されている。</p>
蓮沼 俊哉	<p>富山県農林水産総合技術センター 畜産研究所 副主幹研究員 乳用育成牛について初産分娩月齢の早期化や、乳用子牛の哺育・育成技術や哺育牛へのシンバイオティクス利用技術、ラクトフェリンや活性酵母の給与による経産牛の健全飼育技術などの開発にプロジェクトによる協定試験を通じて大きく貢献するとともに、家畜飼養標準の改定にも寄与している。</p>
早坂 邦昭	<p>独立行政法人家畜改良センター茨城牧場長野支場 種苗検定課 検査証明係長 ISTA(国際種子検査協会)認定による高度な種子の検査技術を有し、我が国で唯一の飼料作物種子に係る OECD 品種証明書発行を行うとともに各種研修や講習会等を通して高度な種子検査技術の指導普及に努めた。種子の検定及び証明業務の中心的役割を担い高品質な種子供給体制の確立に貢献した。</p>
森本 和秀	<p>広島県立総合技術研究所畜産技術センター育種繁殖研究部 副部長 乳用牛への大腸菌不活性化ワクチン接種による乳房炎死廃事故の低減効果を実証したほか、ホールクロップサイレージへの稲こうじ病罹患イネの牛に給与可能な混入程度を明らかにした。また、牛の行動モニタリング技術を活用した周年移動放牧技術の普及においても貢献している。</p>
山口 倫子	<p>千葉県畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 主任上席研究員 ICT など先端技術を活用し実用化を図る試験研究に取り組み、DNA マーカーを利用した豚の親子判定技術の開発に大きく貢献し特許を取得している。さらに高泌乳牛における無線伝送式 pH メーターを用いた亜急性ルーメンアシドーシスの発生条件を明らかにし、生産性の向上に寄与した。</p>

注；所属及び役職は、審査・選考時点のものを記載しております。

生産局長賞は、（一社）家畜改良事業団の伊藤智仁氏に決定されました。